

## 学長メッセージ

「日本の大学はこのままでよいのか」と改革に懸ける熱い想いを胸に、本学の教職員は力を合わせて無我夢中に走ってきました。そして2009年4月、国際教養大学は一つの節目となる開学5周年を迎えました。

この間、我々は「国際教養」という新しい教学理念を掲げ、共感者を増やし、「世界を舞台に活躍できる人材の育成」に励んできました。開学時に大きな懸念であった卒業生の就職・進学状況はすこぶる順調で、結果として、本学へ入学を志す受験生の数も大幅に増加しました。少数精鋭の濃い人間関係に採まれ、厳しい教育プログラムによって鍛え上げられた本学の卒業生のこれからの活躍は、私にとって何よりの楽しみです。

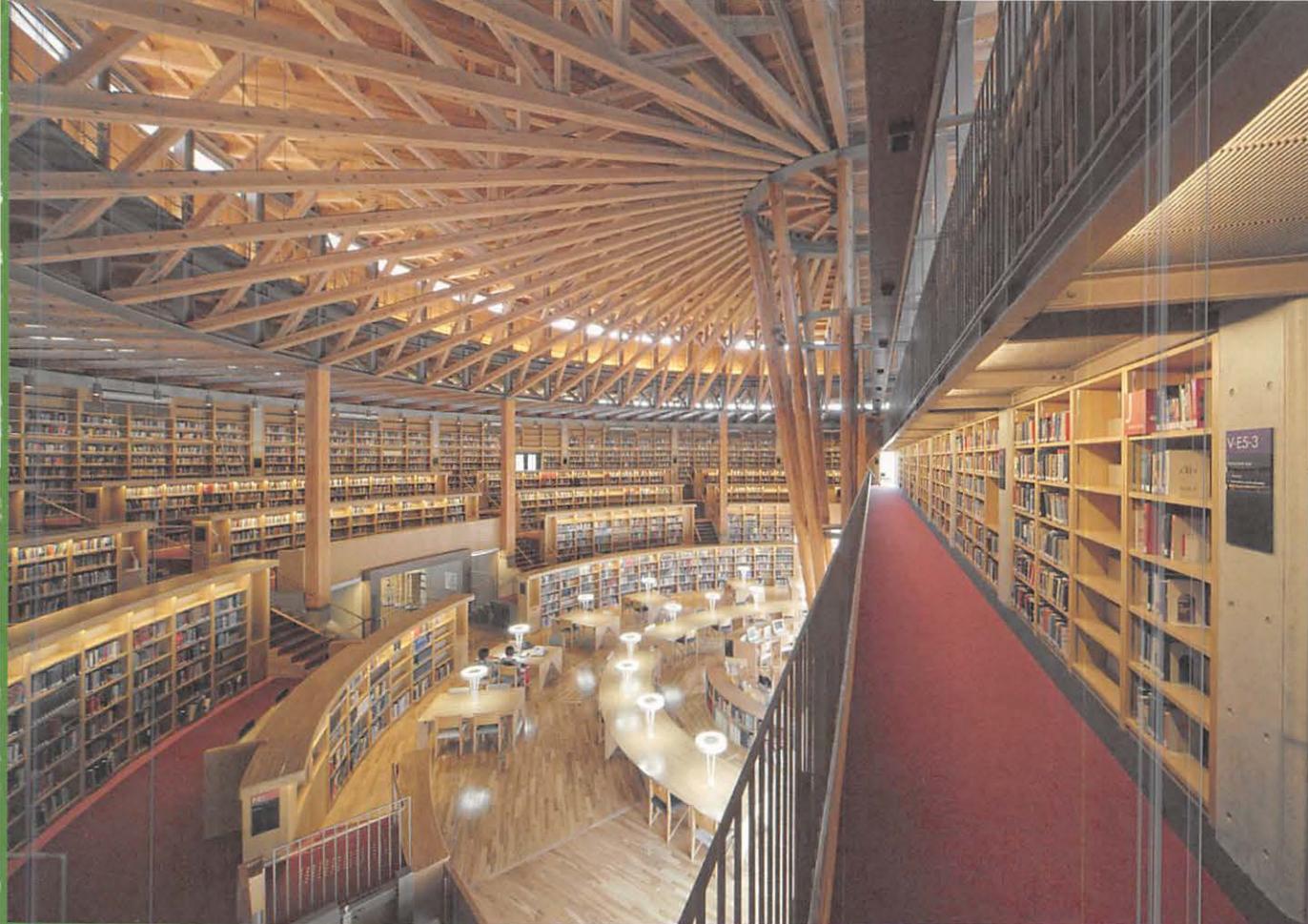
本学では、都会の利便性とはかけ離れた環境で、学生諸君に「これまでの人生で、これほど勉強したことはない」というほどに、勉強と向き合ってもらいます。それでも、学生たちは勉強に加え、クラブ・サークル活動、国際社会・地域社会との交流、イベントの企画・運営など、驚くほどのバイタリティーで充実した時を過ごしています。

自らの限界に挑戦すること。そんな機会の一つひとつが、学生を一回りも二回りも大きな人間に成長させると我々は信じています。「すべてが英語での授業」「新入生は外国人留学生と共に1年間の寮生活」「卒業するまでに必ず1年間の海外留学」など、学生たちはこれまでに経験したことのないチャレンジを積み重ねます。それは決してやさしい道ではありません。しかし、24時間オープンな図書館やコンピュータ室が示すとおり、本学の教職員は、時に親となり、時に友人となつて、学生たちを陰に日向に全力で支えることを約束します。

「国際教養大学には、夢があり、明日がある」と感じられた受験生諸君、ぜひ本学に挑戦してください。みなさんを強く大きく育てることを約束いたします。

学長 中島 裕雄  
(国際社会学者)





あなたの関心につながるAIUの学びをみつけよう。

# AIU

---

# 授業発見

---

# NAVI

2010



公立大学法人  
国際教養大学  
Akita International University

# INDEX

国際教養大学の先生があなたの関心につながる学問を  
わかりやすくミニ授業として紹介。  
関心のあるキーワードから自分に合ったミニ授業を探そう！

関心ワード	ページ
IT	53
相づち	20
アジア	28
EU	36
アニメ	38
アフガニスタン	16
アメリカ	10、13、45、49
暗記	9
イギリス	14
田舎	12
異文化	6、8、22
イベント	11
イントネーション	7
英会話	22、43
英語	9、43
ODA	26
音声	30
エコロジー	54
NGO	26、28

関心ワード	ページ
会話	40、41、52
海外生活	47
外交	13、46
外国語	7、15、30、31
外国人	6、24、29
科学	29、44
学習意欲	37
核兵器	36
学力	14
過疎化	51
環境問題	12
韓国	42
教育	8、17、39
教師	14、17
銀行	49
グローバル化	19、21、26
経営	10
敬語	38
経済効果	34

関心ワード	ページ
言語	15、24
国際法	19
公園	54
国際化	53
国際関係	27、48
国際協力	47
国際社会学	21
コミュニケーション	18、21、41、45
札幌	34
実験	44
自動車産業	10
授業	37
就職	33
終身雇用	33
消費	50
食物連鎖	54
植林	51
心理	50
森林	35

## ミニ授業一覧

タイトル	ページ
外国人に日本語を教えるときに大切なこと	6
音声(発音・アクセント・イントネーション)から日本語を考える	7
外国人に日本語を教えるということ	8
あなたはどのように覚えていますか？ 英単語を効率的に覚える方法	9
アメリカの超巨大企業GMは、なぜ破綻したのか	10
産業振興の視点からスポーツを見る	11
エコツーリズムとグリーンツーリズム	12
公文書や書簡史料を使った歴史的アプローチの方法	13
頭がいいのは生まれつき？ それとも努力の成果？ 日英教育観の違い	14
言語習得のコツ。それは覚えて使って、そして楽しむこと	15
世界の民主化に日本が果たす役割とは？	16
教師という仕事に必要なのは「3M&2H」	17
外国語としての日本語のルールがある	18

タイトル	ページ
国際法は強制力のない不思議な法	19
会話を円滑に進めるターン・テイキング	20
グローバル化とコミュニケーション能力	21
海外留学のすすめ	22
究極を探る。ビッグバン直後の状態からわかることは？	23
これからの日本語教育に必要なものは？	24
日中友好の歴史について再考する	25
国際協力という仕事を指すなら、海外の国際NGOも一つの選択肢	26
教科書が反映する戦後台湾の政治的変遷	27
世界の発展につながる！北東アジア地域の経済協力	28
異文化交流で新たな世界が広がる	29
音声から見た日本語習得	30
留学生が日本語の作文を書く時、どんな方法で書いているの？	31

# 教育カリキュラムの特色

## 徹底した英語環境



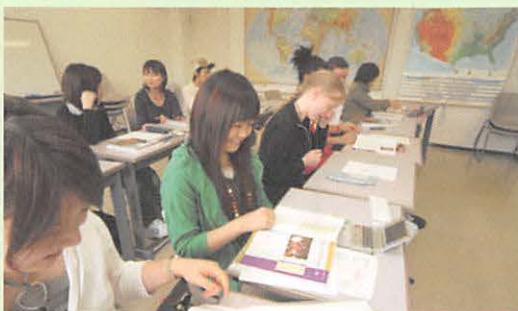
国際教養大学は「英語を学ぶ大学」ではなく「英語で学ぶ大学」です。在学中はすべての授業が英語で行われるため、入学後はまず英語集中プログラム(EAP: English for Academic Purposes)で英語運用能力を徹底的に磨きます。「話す」「聞く」「読む」「書く」という英語の4技能習得に加え、EAPでは講義の聞き方、ノートの取り方、レポートの書き方、図書館やコンピュータの利用方法など、本学を卒業するためには不可欠なサバイバルスキルも身に付けます。入学直後のセメスターでは、EAPを週に20時間程度受講するため、「英語漬けの毎日」といっても過言ではありません。

## 教養教育とは ～未来に通じる教育理念～

国際教養大学は、教養教育を重視しています。教養教育とは職業人を養成するための学問に対して、言語、人文科学、社会科学、自然科学、数学、芸術(音楽・美術)など、多彩な学問分野から幅広い知識を修めるカリキュラムです。教養教育の目的は、専門性から生じる限界を克服することにあります。急激に変化する社会に対応するには、専門性ばかりを追求して視野を狭くするのではなく、あらゆる分野にまたがる普遍的な知識を広く、深く習得し、状況に応じて適切な判断が下せる多角的な視点を身につける必要があります。また、グローバル化が進行する世界では、「国際語」である英語はもとより、異文化精神の理解をふまえた外国語のコミュニケーション能力が欠かせません。一つの言語を学ぶことは世界が一つ広がることを意味します。母語である日本語、国際語である英語、そしてもう一つの外国語を学ぶ「三言語主義」が求められます。本学では、こうした21世紀の知的基盤社会にふさわしい道義と学識及び発信力を「国際教養」と定義付けています。

AIUにおける国際教養教育	
教育目標	多様なリベラルアーツの探求方法
外国語コミュニケーション能力の向上	人文学的視点 社会科学的視点 経済的方法 量的論証 批判的思考方法
様々な学問分野にまたがる広範な基礎知識	
知的独創性と情報に基づいた判断力	
異なる学問分野の知識を統合する能力	
グローバルゼーションに対する理解	
グローバル社会の日常における経済的、歴史的、政治的要因の把握	
自己の文化的アイデンティティの確立	
異文化対応能力と、文化の多様性がもたらす創造性への尊重	

## 積極性と創造力を養う少人数教育



1クラス15人以下を基準とする国際教養大学の授業は、学生が自ら考え、意見を述べ、積極的に議論するスタイルで進められます。ディスカッションやディベート、プレゼンテーションへの参加を通して、相手の意見を尊重しながら自らの意見を積極的に伝えるコミュニケーション能力と創造性を身に付けます。

## 講義タイトル 会話分析からわかるあれこれ

### 普段何げなくしている会話から見えること

自分たちが普段、どのような会話のやりとりをしているのか。このことは案外、自分では気づかないものです。言語教育の分野では、会話がどんな感じで進められているのかをVTRで撮影し、それを会話参加者と一緒に見て、インタビューしながら分析するというやり方があります。どういうふうに話題転換しているのか、どんな展開をしているのか、あるいは、スムーズにいているところとそうでないところなどを分析していきます。これは、留学生などの日本語学習者だけでなく、日本人同士の日本語での会話にも役立つ手法です。この方法を通して全般的に言えることは、当たり前聞こえるかもしれませんが、会話は、参加者すべてが協力してこそ成り立つということです。二人であれば、両方の歩み寄りが必要だということです。



### もう一つのポイント、非言語行動

VTR撮影による分析では、会話における言葉のやりとりだけでなく、いわゆる非言語行動もつかむことができます。何かの形を作ったり指を差したりするジェスチャー、視線を誰に向けたか、あるいは息の吸い方などです。多くの人は「しゃべりたい」というニュアンスを「息を吸う」ことで示すことがわかってきました。この微妙な動きの意味を理解することで、例えば会議での司会進行などにも役立たせることができます。

### 聞き手の参加の仕方

会話は参加者すべてが協力してこそ成立すると言いました。中でも、聞き手の参加の仕方は大切なポイントです。例えば、話の途中で相づちを打ったり、評価するような発話をさかんにしてくれると話しやすい。評価的発話とは、「すごいですねえ」とか「素晴らしい」とかいう表現のことです。また、聞き手が話を受けて、要約して反応してくれると会話が弾むということもあるでしょう。「それは〇〇ということですか?」といった感じです。

興味  
湧いてきたら  
日本語プログラムが  
向いている  
かも!



**先生からのメッセージ** 時には自分の会話を客観的に見つめ、自己モニターをしてみるとおもしろいのではないのでしょうか。実際に自己モニターをやっている人の中には、それによって「職場の人間関係がスムーズになった」「コミュニケーションで調整、配慮ができるようになった」という人がいます。自分の意図を「メタメッセージ(お互いの関係や態度など、メッセージを送ることで伝わるメッセージ)」もいっしょに伝えられるようになり、相手からの隠されたメッセージも把握できるようになります。留学生との交流など異文化体験を含めてぜひ挑戦してみてください。

国際教養大学 国際教養学部 日本語プログラム 助教 中井 陽子 先生

## 講義タイトル 国際社会学(地域研究)で、国それぞれの「におい」を知る

### 文明の違いが戦争を起こす？

文化と文明の違いがわかりますか？ 1990年代初頭、米国ハーバード大学のサミュエル・ハンチントン教授が「文明の衝突」という論文を発表し、世界的な反響を呼びました。これからの時代は軍事的・政治的な対立ではなく、文明の対立が戦争を起こすと、問題提起したのです。ハンチントン氏は日本も一つの文明と位置づけているのですが、日本の場合、あまり文明とは言わず、どちらかという文化で、日本文化と言います。中国は、中国文明と呼ぶのが普通です。



### 文化はフロー、文明はストック

文明には、歴史的な蓄積が前提としてあります。だから、文明同士が対立するとなかなか大変です。例えば、キリスト教文明とイスラム教文明が好例です。日本は幸いにして歴史は古いものの、文化というふうに表示されます。どちらかという、フレキシブル(柔軟)で、全体的に見ると、フロー(流動的)です。一方で、文明はストック(蓄積)。中国で言えば、中華思想もそのようなとらえ方からきています。

### 地域研究で、お互いの違いを知る

欧米人から見ると、日本人・中国人・韓国人の見分けがつきにくいと言います。飛行機で移動すればわずか2、3時間で行ける近隣の国々でも、言葉の壁があり、文化の違いもあります。このようなことをテーマに

して考えるのも、新しい学問・国際社会学、地域研究の領域です。

地域研究で「食」を切り口にしたおもしろい話があります。日本・中国・韓国の違いを辛味で考えた場合、日本は「わさび」、中国は「ラー油」、そして韓国なら「唐辛子」。わさびの辛さは、辛いけれどもサツと引いてさわやか。ラー油は、なかなか消えないいつこい辛さがあつたりします。唐辛子はカーッと熱くなる辛さ。もちろん、こうした食文化の違いが、民族や国民の違いすべてを表すわけではありませんが、近隣の地域であっても、文化の違いがあるのです。つまり、その国民のそれぞれの「におい」を知ることがもっとも大切です。

興味  
湧いてきたら  
基盤教育  
社会科学が  
向いている  
かも！



**先生からのメッセージ** 若いうちにグローバルな視点を持つこと。そして、手段としての英語を身につけ、さらに複数の言語を習得することが大切です。地球全体を視野に入れつつ、地域ごとの違いを勉強する姿勢を持つことも重要です。10代後半は、クリエイティブな時期であり、また迷いのある年齢でもあります。迷った時には、自分の立ち位置を見定めること。そこから「泉」が出てきます。英語の格言を贈ります。

Dig deep the very place where you stand on, you will find a spring.

国際教養大学 国際教養学部 基盤教育 社会科学 教授 中嶋 嶺雄 先生